

愛知大学 3つのポリシー（2021～2023 年度）

■大学全体

教育研究上の目的
学則第1条（目的） 本大学は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー） 愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」という建学の精神をふまえ、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標（教育研究上の目的）および学位授与方針を定めて教育を実践しています。本学は以下のような資質、能力および知識を身につけることを全学生に求めます。なおかつ、学位授与にあたっては、各学部・学科が定める科目区分毎の卒業必要単位数および専攻もしくはコース別の履修要件をすべて満たし、公正な成績評価を経ることにより総計124単位以上修得することが必要です。 （1）各学部・学科の専門知識・技能および情報処理等の汎用的能力を身につけることで、筋道を立てて物事を考え、課題を解決することができる。 （2）幅広い教養、豊かな人間性および社会的倫理観を身につけている。 （3）社会の諸事象について、主体的かつ総合的に判断できる能力を身につけている。 （4）国際的な視野から世界と日本を見つめ、多文化共生をめざす態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけている。 （5）多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。
教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） 愛知大学では、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に示された人材の養成を実現するために、学部を越えて履修する「共通教育科目」と各学部・学科別に設置された「専門教育科目」からなるカリキュラムを編成し、実施しています。 （1）「共通教育科目」は、大学教育への導入・適応を促すとともに、大学における学習・研究に必要な基礎的知識や技能、論理的な思考方法、総合的な判断力、グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力、さらにIT化時代に必要な情報処理能力を養成することを主たる目的として設置されています。これらの目的を達成するため「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」および「体育」の7分野に分けて科目を設けています。 （2）「専門教育科目」は各学部・学科が養成をめざす専門分野の科目です。全ての学部で、教育の専門性をより高めるためにコースもしくは専攻を設けています。授業科目の中には、講義科目のほか、各学部・学科の方針に応じて、演習や実習、卒業論文・卒業研究、フィールドワーク等が含まれます。また、いずれの学部でも大学教育への導入・適応を促すため初年次に演習科目を置いて少人数教育を実施しています。
入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） 愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神としており、これに基づいた人材を社会に送り出すことを使命としています。また、建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生の選抜を目標としています。 愛知大学には多様な専門教育を行う学部がありますが、いずれの学部に入學するにしてもカリキュラムは高等学校で身につけた幅広い分野にわたる基礎学力を前提としています。基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課す一般選抜に重点をおいた入学試験を実施しています。 入学者選抜では、基礎学力に加え、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を多面的・総合的に評価します。 なお、学校推薦型選抜についても、一定水準以上の学業成績を求めるとともに、高等教育を受けるために必要な基礎学力を把握するための学科試験（英語・国語）を課しています。 また、学力以外の面においても、優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ者を求めています。